

アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF)
宇宙教育フォーラムの開催結果について

平成 18 年 3 月 15 日
宇宙航空研究開発機構

1 . 報告事項

昨年 10 月に開催された第 12 回アジア太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF) での宇宙教育普及に関する勧告 (*1) を受け、平成 18 年 3 月 4 日、ベトナム社会主義共和国ハノイ市内において、宇宙教育フォーラムを開催したので、その概要について報告する。

(*1:第 12 回 APRSAF では、「持続可能な開発を促進するための宇宙利用の重要性について、さまざまな教育、啓発活動を通じ、一般国民、特に若い世代及び政策決定者の理解を得る努力を継続すること」との勧告が採択された。)

2 . 概要

開催日：平成 1 8 年 3 月 4 日 (土)

場 所：ベトナム科学技術院

(ベトナム社会主義共和国 ハノイ市内)

主 催：JAXA、国連教育科学文化機関 (UNESCO)

協 力：ベトナム科学技術院 (VAST)

参加国等：アジア・太平洋地域の 6 カ国を含む 8 カ国 (*2)
及び UNESCO から 100 名強。

(*2:インド・インドネシア・日本・フィリピン・タイ・ベトナム・
ブラジル・フランスの 8 カ国)

ハノイの小中高校生・大学生及び教員 70 名弱、

VAST 職員を含むベトナムからの参加者が 85 名。

日本側出席者：湯元教授 (九州大学) 小山教授 (JAXA 宇宙科学研究本部) 知久主任 (JAXA 宇宙教育センター) 他

3 . 開催結果

・ベトナム科学技術省国際部次長 Thai Van Tan 氏、及びベトナム UNESCO 委員会代表 Tam 氏らのご出席のもと、開会式が行なわれ、JAXA からは小山教授による「人類の知の創造に向けて」と題したプ

レゼンテーション、宇宙教育センター知久主任による水ロケットの理論紹介と実演が行われた。(プログラムの詳細については、添付1のとおり)

- ・参加していた中学高校生のみならず教員、教育担当者も、質疑応答 (OPEN SESSION)や水ロケットの打ち上げ実演、天文分野での実習 (EDMUND ROSALES 氏の講演) に積極的に参加していた。

- ・宇宙教育フォーラムでは、VAST 幹部・スタッフの宇宙教育活動推進に対する積極的な姿勢がうかがわれた。今後、JAXA と VAST が協力して宇宙教育活動をアジア地域で進める貴重なきっかけを作ることができた。

- ・VAST 幹部 (副院長以下) のみならず、ベトナム科学技術省および教育訓練省からも宇宙教育活動の重要性を認識する発言があり、この分野で JAXA、UNESCO との協力を強化していきたい旨が JAXA、UNESCO の参加者に伝えられた。

4 . その他

- ・フォーラム開催前日 (3 月 3 日) には、APRSAF ベトナム宇宙科学教育ワークショップが開催され、JAXA から参加。アジア・太平洋地域において宇宙科学分野で国際協力を進めている研究者 36 名と、宇宙科学研究を通じての教育の向上への貢献について自由討論を行った。

- ・自由討論では、APRSAF 宇宙教育普及分科会 (SEA WG) が宇宙科学研究者と緊密な連携を行うこと、研究者による教育活動の向上に向けた試みを SEA WG がいかに支援できるか、APRSAF メンバー国が意見交換を行うこと、SEA WG に助言を行う有識者団体として、研究者と教育者による非公式なグループを設置すること、等が提案された。

宇宙教育フォーラム及び宇宙科学教育ワークショップの様様につき、添付2に写真を示す。

以 上

添付 1 : 宇宙教育フォーラム開催プログラム

時間	議題・プレゼンテーションのタイトル	発表者
9:00	開会式	(司会) C.T.Thang ベトナム科学技術院国際部部長
	開会の辞	APRSAF 宇宙教育普及分科会議長 宇宙科学研究本部 小山孝一郎
	歓迎の言葉	N. K. Son, ベトナム科学技術院副院長
	歓迎の言葉	H. N. Ha ベトナム教育訓練省代表
	歓迎の言葉	Shiu-kee Chu, UNESCO ハノイ事務所 所長
	宇宙教育活動推進の為の世界的枠組み	Y. Berenguer, UNESCO 宇宙教育プログラム
	望遠鏡贈呈式 (UNESCO よりベトナムへ)	Shiu-kee Chu, UNESCO ハノイ事務所 所長 H. N. Ha ベトナム教育訓練省代表
	ベトナムにおける、社会のための宇宙活動の 推進および将来の世代のための教育向上に おける試み	T. M. Tuan ベトナム科学技術院 宇宙技術応用調整センター所長
10:30	休息	
11:00	小中高校生のためのリモートセンシング 教育プログラム	T. M. Sausen, ブラジル国立宇宙研究所(INPE) 教育プログラム担当 兼 ラテンアメリカ・カリブ地域 国連関連宇宙科学技術教育センター ブラジル・キャンパス所長
	通信・放送衛星の恩恵： Edusat 利用プログラム	P. K. Jain, インド宇宙研究機関(ISRO) 衛星通信プログラム室
12:30 - 13:40	昼食	
13:40	人類の活動領域拡大に向けて： 有人宇宙活動と生命科学の進歩	J. J. Favier, フランス国立宇宙研究センター 戦略・プログラム局 先進概念・戦略担当次長
	人類の知の創造に向けて： 惑星探査における近年の成果	宇宙科学研究本部 小山孝一郎
	児童・生徒のための天文分野での演習	E. Rosales, フィリピン大学 国立科学数学教育開発院
15:30	ロケット科学での演習：理論と水ロケット の実演	(講演) 宇宙教育推進室 知久建美 (実演) D. M. Chung, ベトナム科学技術院 宇宙技術応用センター
16:30	休息	
16:45	オープン・セッション - 発表者が児童・生徒に質問をし、正解の場合は記念品を贈呈。	
	ハノイ市中学校生徒による歌の披露	
17:30 - 18:00	閉会の辞	Y. Berenguer, UNESCO APRSAF 宇宙教育普及分科会議長 小山孝一郎

APRSAF/UNESCO 宇宙教育フォーラム (2006.3.4) の模様



地元の中学生を交えて、参加者全員の写真撮影



水ロケット打上げに熱中する参加者

APRSAF 宇宙科学教育ワークショップ (2006.3.3) の模様



アジア地域における宇宙科学分野での国際協力について意見交換



アジア 6 カ国の宇宙科学研究者、宇宙教育担当者らが参加